

# 「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

学年・単元名

第6学年 「やまなし」資料：イーハトーヴの夢（光村図書）

単元構想

指導例「『注文の多い料理店』評」を取り入れて

本時

指導例「『注文の多い料理店』評」

第一  
次

- 1 二つの文章を比べながら読み、その違いをとらえることができる。  
作品の構成や表現上の特色を踏まえ、自分の考えをもつことができる。

第二  
次

- 1 「やまなし」の題名と最初の一文から、内容を想像することができる。  
初発の感想をまとめ、交流することができる。

第三  
次

- 1 「五月」の場面を読み、様子を表す言葉や比喩表現に着目しながら、谷川の情景や、「か  
2 かの親子」の様子を想像することができる。

- 3 「十二月」の場面を読み、様子を表す言葉や比喩表現に着目しながら、谷川の情景や、「やまなし」の出現で変化していく「か  
4 かの親子」の様子を想像することができる。

- 4 「五月」と「十二月」から読み取ったことを想起しながら、二つの場面を比べ、共通点や相違点について感じたことを交流することができる。

- 5 「資料：イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方のもとになった出来事や作品が誕生した背景などを年表にまとめることができる。

- 6 宮沢賢治の生き方や考え方について話し合い、作者が「やまなし」という題名を付けた理由について、考えをまとめる。

第四  
次

- 1 「やまなし」「資料：イーハトーヴの夢」を読んで考えてきたことと、賢治の他の作品を読んで感じたことを関連付けて話し合うことができる。

## 押さえない指導のポイント

- 原文と原文に類似した文章を比較して読み、文章表現に違いのあることに気付かせる。
- 原文と原文に類似した文章を比較して読ませることにより、原文の比喩表現や例示の効果に気付かせる。
- 作品（原文）の描写について自分の考えをもたせ、評価させる。
- 自分の考えを、条件に合わせて書きまとめさせる。

